

沿革・地勢

1 市域の変遷

| 年 月 日(西暦) | 事 項 |
|----------------|------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 明22・4・1(1889) | 町村制が実施され、関係市町村は府中市村・出口村・岩谷村・広谷村・国府村・栗生村・下川辺村・河佐村・諸田村・上川辺村となる。また、木野山村・行藤村・桑木村・阿字村の4か村で組合村を設立した。 |
| 明29・6・3(1896) | 府中市村を府中町と改めた。 |
| 明30・6・5(1897) | 出口村を出口町と改めた。 |
| 明31・4・1(1898) | 芦田郡・品治二郡を合併し、芦品郡を設立した。 |
| 明45・7・25(1912) | 阿字村、組合村から分離独立する。 |
| 大 2・2・1(1913) | 木野山村・行藤村・桑木村を合併し、大正村と称する。 |
| 大12・4・1(1923) | 府中町と栗生村土生の一部が合併。土生の一部は栗生村。 |
| 大14・2・1(1925) | 府中町・出口町を合併して府中町と称する。 |
| 昭24・4・1(1949) | 御調郡から下川辺村が分離、芦品郡へ編入する。 |
| 昭24・7・1(1949) | 大正村桑木が分離、神石郡高蓋村へ編入する。 |
| 昭29・3・31(1954) | 府中町・広谷村・国府村・栗生村・岩谷村・下川辺村の6か町村が合併、府中市制を施行した。 |
| 昭30・2・1(1955) | 御調郡諸田村から、下山田・大山田・千堂地区が分離、御調町へ編入した。 |
| 昭30・3・17(1955) | 甲奴郡上下町斗升が分離、一部が大正村へ、一部が阿字村へ編入した。 |
| 昭30・3・31(1955) | 大正村・阿字村を合併、協和村と称する。 |
| 昭31・9・30(1956) | 河佐村・御調郡諸田村及び御調町三郎丸地区を編入する。 |
| 昭50・2・1(1975) | 協和村を編入する。 |
| 平16・4・1(2004) | 甲奴郡上下町を編入する。 |